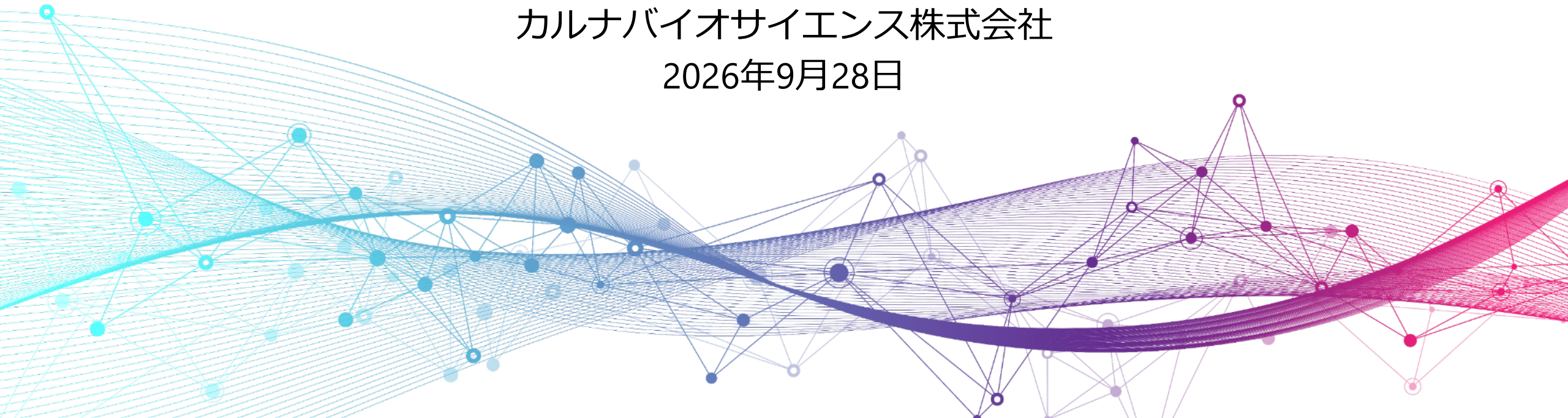


資金調達に関する補足説明資料

新株予約権付社債発行プログラム設定契約の締結及び
第三者割当による第4回無担保転換社債型新株予約権付社債並びに新株式の発行に関するお知らせ

カルナバイオサイエンス株式会社

2026年9月28日





目次

1

事業概要

2

資金調達に関する補足説明





事業概要



カルナバイオサイエンスについて



当社はキナーゼ※創薬に関する技術を基に2事業を展開しています



創薬事業

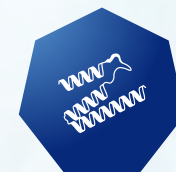
当社自身が研究開発を行い、
新薬の創出を目指す



創薬支援事業

キナーゼ阻害薬研究を行う製薬企業等
に向けた製品・サービスを提供

※: キナーゼは細胞内の信号伝達（細胞の増殖・分裂・死亡の指令など）において重要な役割を担う存在で、キナーゼの異常は様々な疾患の原因と考えられています。



キナーゼ阻害薬等の 低分子医薬品にフォーカス

独自の化合物ライブラリや様々な創薬技術を保有しています



製薬会社からのスピンアウトで創業

大手製薬会社からのスピンアウトに始まる当社は創薬研究に関する技術や知見を幅広く保有し本格的な創薬研究が可能な研究開発チームを保有しています



国内外の大手製薬会社と様々な実績

ギリアド・サイエンシズ社に当社が創製した創薬プログラムを導出しています
また国内大手製薬会社である住友ファーマ社との共同研究も行っています



がん、免疫・炎症疾患を対象とする 複数の臨床開発段階パイプラインを保有

臨床開発段階にある自社開発パイプラインとして3つの化合物の開発を進めています



2003年に日本オルガノンからのスピンアウトにより設立後、キナーゼ創薬の領域において事業を展開してまいりました



2003
キナーゼ創薬基盤技術に強みを持つ創業メンバーが日本オルガノンからスピンアウトして当社設立



キナーゼ創薬研究に必要なキナーゼタンパク質、スクリーニング・プロファイリングサービスを製薬会社に提供



2010
創薬研究部を創設し、がん、免疫・炎症疾患を対象としたキナーゼ創薬研究を本格的に開始



2019
米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市に臨床開発拠点を開設



画期的な薬を持続的に生み出す

リーディング「創薬」企業へ



2003

導出実績

- 2015** ヤンセン・バイオテック (現Johnson & Johnson Innovative Medicine) へ導出
- 2016** シエラ社 (現GSK) へ導出
- 2018** 住友ファーマと共同創薬
- 2019** ギリアド・サイエンシズ社へ導出
- 2020** バイオノバ社へ導出
- 2022** FRTX社へ導出

パイプライン

- 2020** BTK阻害剤sofnobrutinib (AS-0871) の臨床試験開始
- 2021** BTK阻害剤docirbrutinib(AS-1763) の臨床試験開始
- CDC7阻害剤monzosertib(AS-0141) の臨床試験開始

2026年計画

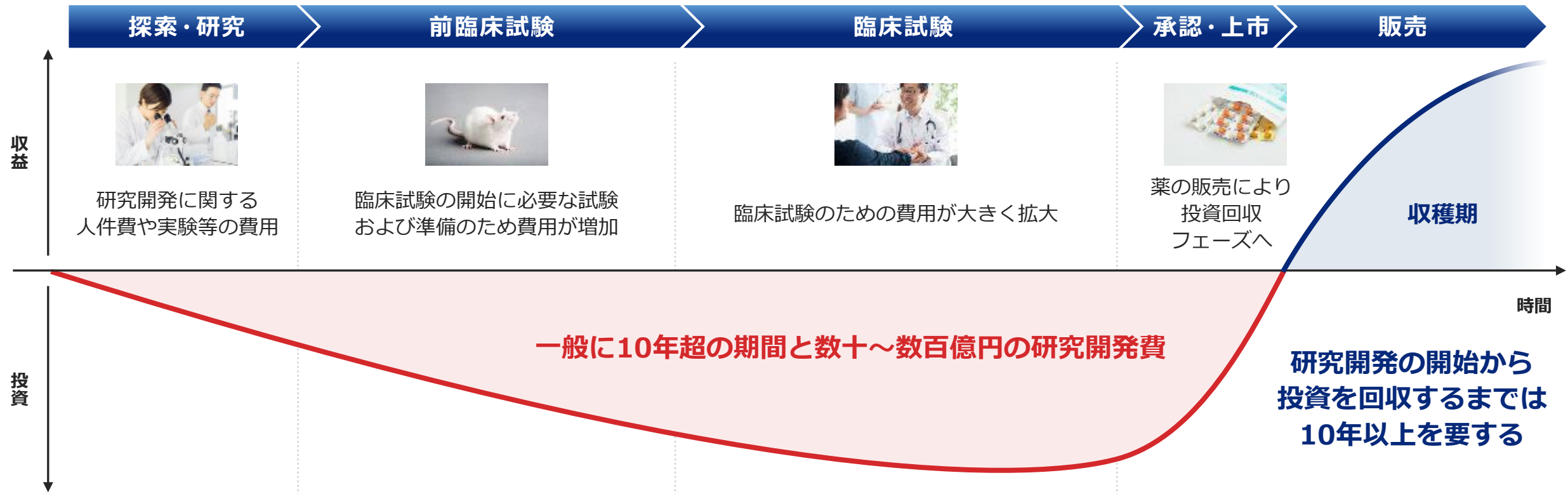
- BTK阻害剤sofnobrutinib(AS-0871) のパートナーリング活動
- BTK阻害剤docirbrutinib(AS-1763)、CDC7阻害剤monzosertib(AS-0141)の臨床試験推進
- 臨床試験を継続しながらパートナーリング活動推進
- 臨床開発体制のさらなる強化
- 次世代のパイプラインの構築

中長期計画

- 開発パイプラインの臨床試験推進
- パートナーリング活動推進
- 導出先からのマイルストーン収入、販売ロイヤリティの獲得による経営の安定化
- 次世代のパイプラインの構築

新薬開発のプロセスと収益化までの構造

新薬候補の探索から市場で使われるようになるまでは一般に10～15年がかかり、多額の研究開発費がかかります



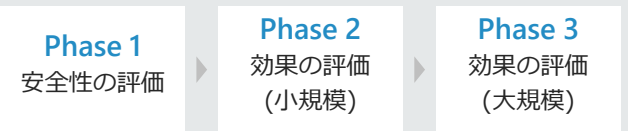
様々なアイデアに基づいて新薬の候補となり得る化合物の探索と候補の評価を行います



医薬品候補化合物について、薬効薬理、薬物動態、安全性や毒性などの評価を行うとともに、製造方法や製剤の安定性などの検討も行います



臨床試験の一般的な流れ



実際に、健康成人や患者に投与を行い、安全性や効果を確認し、新薬としての承認を受けます。



新薬として発売され、治療のために患者に処方されます



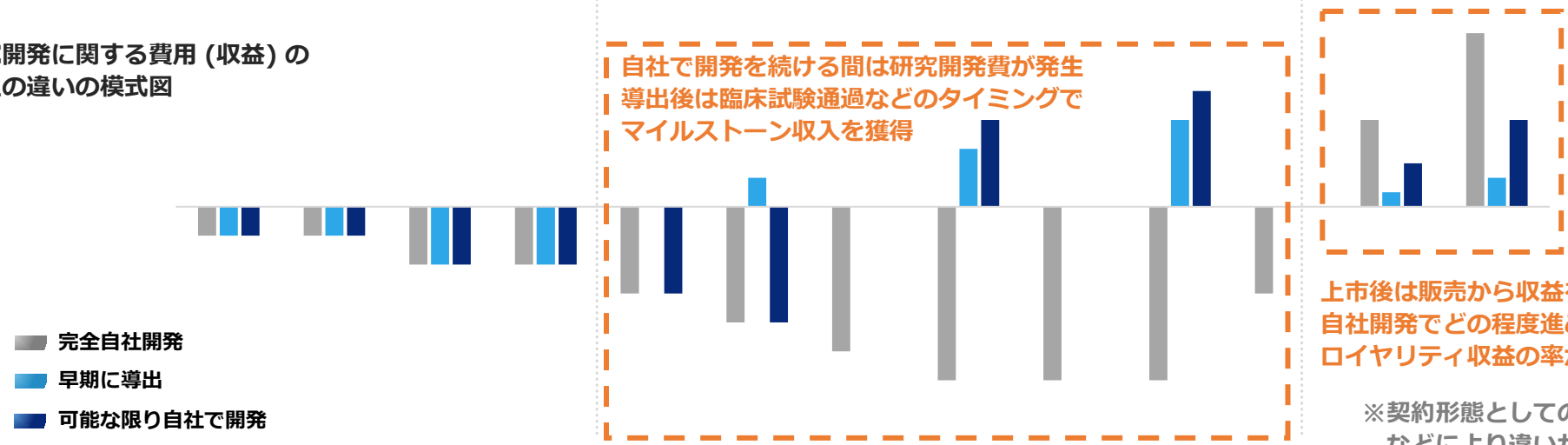
創薬ベンチャーの収益モデル



研究開発費の負担が大きいいため、自社で最後まで開発を行うリスクを取ることが難しい場合、研究開発の途中段階で製薬企業等へ導出※¹し、マイルストーン収入※²や上市後のロイヤリティ収入を得る形式を取ることがあります。



研究開発に関する費用 (収益) の発生の違いの模式図



※¹ 企業が保有する医薬品開発の権利や販売権を譲渡すること。ライセンスアウトとも。 ※² 導出したパイプラインについて、臨床試験の通過時など、新薬開発の段階に応じて導出先から得られる収益

※契約形態としての一例であり、どのような新薬かなどにより違いがあります



創薬ベンチャーはパイプラインを創出するとともに、それぞれのパイプラインの中長期的な価値を高めていくことで企業価値の最大化に努めております。

パイプラインの価値の構成要素

市場規模

- ✓ どのような疾患を対象とするか
- ✓ 対象疾患の拡大は可能かどうか
- ✓ どのような使われ方になるか

想定シェア

- ✓ 既存薬と比べてどのような優位性や差別化がされているか

契約形態 (ロイヤリティ率)

- ✓ どの段階まで
自社で開発を進めるか

上市の確度

- ✓ 臨床試験の結果や
進捗状況はどうか



パイプラインの 継続的な拡大



企業価値の向上



当社の事業概要及び業績動向



当社は創薬事業と創薬支援事業の2事業を軸として展開しております。
近年ではdocirbrutinib等の自社パイプラインの臨床試験を進めており、試験のための費用が拡大しております。

創薬事業

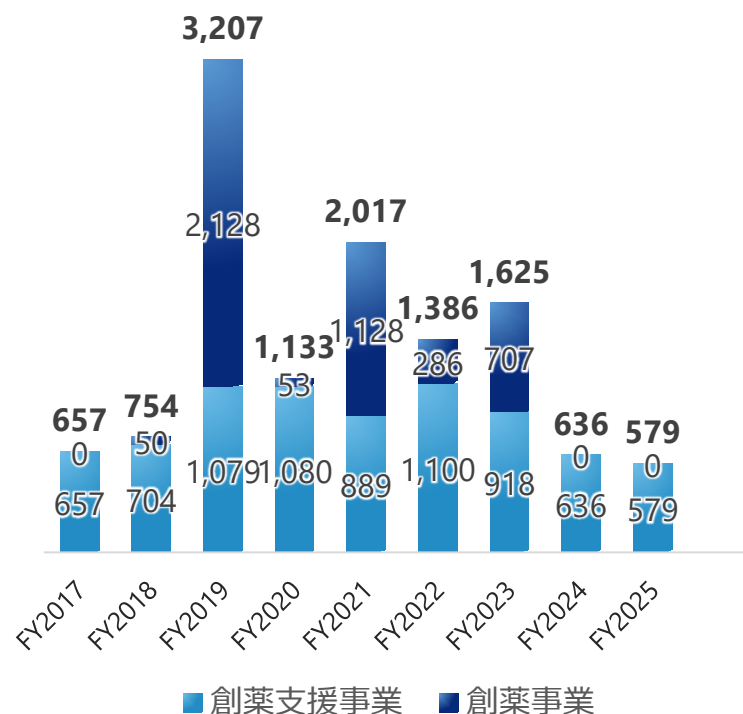
- ✓ 革新的なキナーゼ阻害薬等の低分子医薬品の研究開発に取り組んでいます。
- ✓ がん、免疫・炎症疾患を重点領域として注力しています。
- ✓ がん領域は最大フェーズ2試験まで、その他はフェーズ1試験もしくは前臨床試験まで実施し、早期に導出することを基本方針としています。

創薬支援事業

- ✓ 当社のキナーゼ創薬基盤技術を基に、リード化合物の創出や最適化の際に用いられるキナーゼタンパク質やアッセイキットの販売、プロファイリングやスクリーニングなどのサービスを提供しています。

売上高推移

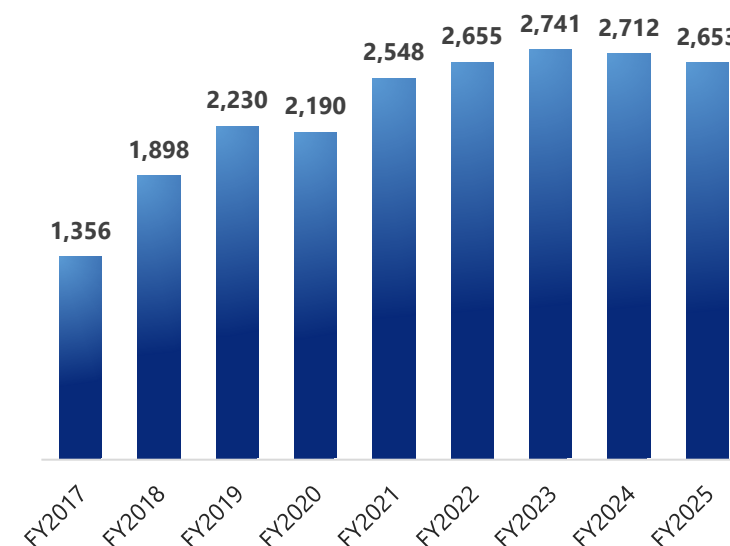
(百万円)



顧客の研究開発規模の縮小などにより、FY2025では前年比で創薬支援事業が減収となりました。

営業費用推移

(百万円)



docirbrutinib等の自社パイプラインの臨床試験開始に伴い、研究開発費等を中心に営業費用は拡大傾向にあります。



資金調達に関する 補足説明



本資金調達について

docirbrutinib (AS-1763) 及びmonzosertib (AS-0141) の臨床開発を着実に推進し、パイプライン価値の向上と適切な資金水準の維持を図るため、本資金調達の実施を決議いたしました。

本資金調達は、固定転換価額型の転換社債型新株予約権付社債及び新株式の発行により実施いたします。

CASH-IN

新株予約権付社債発行プログラム

調達資金の額
払込金額の総額

561百万円

割当予定先	Cantor Fitzgerald Europe
償還期日	各回の払込期日から3年
利率	年率 1.0%

本調達の特徴・効果

即時の希薄化を軽減しつつ
短期間でまとまった金額を調達

- ✓ 新株予約権の活用及び3回にわたる発行により、大規模な希薄化が一時に生じることを回避
- ✓ 希薄化のタイミングを分散化出来る一方、社債部分を通じてまとまった資金を発行時に調達可能

転換価額の固定による
過度な株価インパクトの制限

- ✓ 価額修正条項は無し

	割当決議日	払込期日	払込金額の総額
第4回新株予約権付社債第三者割当	2026年9月28日	2026年10月14日	187,200,000円
第5回新株予約権付社債第三者割当	2026年10月19日(予定)	2026年11月4日(予定)	187,200,000円
第6回新株予約権付社債第三者割当	2026年11月9日(予定)	2026年11月25日(予定)	187,200,000円

CASH-IN

新株式の発行

調達資金の額
払込金額の総額

850百万円

割当予定先	五味 大輔 氏	kaya holdings 株式会社
払込金額	700百万円	150百万円

本調達の経緯

- ✓ 五味大輔氏※との継続的な対話の中で、当社事業への理解及び支援意向を確認
- ✓ 当社を長年支援いただいている上位株主より、kaya holdings株式会社の紹介を受領
- ✓ 両者との協議を経て、本新株式第三者割当による引受意向を確認
- ✓ 必要資金の一括かつ確実な調達が可能と判断

本調達の特徴・効果

確実な資金調達

- ✓ 払込時点において総額850百万円の資金を一括して確実に調達することが可能

事業活動に直接充当
可能な資金の確保

- ✓ 当社の臨床開発費用、前臨床段階のパイプラインの開発費用、開発化合物の創製・研究費用等及び運転資金に直接充当が可能

※ 五味大輔氏が2026年1月5日現在において当社普通株式985,000株を保有している旨の大量保有報告書（変更報告書）が、2026年1月13日付で提出されています。

当社パイプラインの状況について

当社は現在、ブロックバスターとなるポテンシャルを有するdocirbrutinibの臨床試験に注力するとともに、がん治療分野で米国No.1※と評価されるテキサス大学MDアンダーソンがんセンターとのMOUに基づき、monzosertibの医師主導治験開始に向けた準備を進めております。これらを着実に推進することが、当社の企業価値向上につながるものと考えております。



docirbrutinib フェーズ1b試験 実施中 (米国, 2023年8月～)



対象疾患と目指す製品像

B細胞性悪性腫瘍（CLL/SLL等の血液がんの一種）の治療を目的とした低分子経口薬（非共有結合型BTK阻害剤）

想定される市場規模や競合薬

既存のBTK阻害薬の売上高の合計は2025年時点で130億ドルを超え、今後の成長も期待されている

POINT

- ✓ テキサス大学MDアンダーソンがんセンター 白血病科教授 Nitin Jain医師が多施設共同試験を主導

UP DATE

- ✓ 2026年6月 欧州血液学会 (EHA2026) にて、有望な途中結果を発表
- ✓ 2026年5月 非臨床研究に関する論文がBlood Cancer Journal誌に掲載
 - ・ テキサス大学MDアンダーソンがんセンターとの共同研究として実施
 - ・ docirbrutinibの薬理特性および血液悪性腫瘍に対する高い治療ポテンシャルを示す内容



monzosertib フェーズ1b試験 準備中 (米国、医師主導治験)



対象疾患と目指す製品像

AML（急性骨髄性白血病）を主対象として開発中の低分子経口薬（CDC7阻害剤）

想定される市場規模や競合薬

急性骨髄性白血病（AML）治療薬の市場規模は38億ドルに達しており、今後の成長も期待されている

POINT

- ✓ 日本フェーズ1試験、最後の患者の治験が終了
- ✓ テキサス大学MDアンダーソンがんセンターと締結した覚書に従い、フェーズ1b試験（医師主導治験）の開始に向けて準備中
主導：白血病科 Abhishek Maiti医師

UP DATE

- ✓ 2026年7月 FDAオーファンドラッグ指定 (ODD) を取得
- ✓ 2026年8月 テキサス大学MDアンダーソンがんセンターにおける医師主導治験（フェーズ1b試験）がClinicalTrials.govに登録・公開



本資金調達の内訳及び資金使途の詳細は以下の通りです。



本資金調達による調達額	
新株予約権付社債発行プログラム	561百万円
新株式の発行	850百万円
発行諸費用（控除）	△42百万円
合計	1,369百万円

資金使途	
docirbrutinib（AS-1763）及びmonzosertib（AS-0141）の臨床開発費用 並びに前臨床段階のパイプラインの開発費用	688百万円
開発化合物の創製・研究費用等 （臨床開発段階及び前臨床段階のパイプラインの開発及び導出活動に資する非臨床研究実施費用を含む）	412百万円
運転資金	269百万円
合計	1,369百万円



本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません

将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものです



カルナ《CARNA》は、ローマ神話に登場する人間の健康を守る女神で、cardiac（心臓）の語源とも言われています。バイオサイエンス

《BIOSCIENCES》は、生物科学と言われ、生物学（Biology）と生命科学（Life Science）から、つくられた言葉です。「生命科学の世紀」とも言われる21世紀の初めに、カルナバイオサイエンス社とともに新しい女神“カルナ”が誕生しました

カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

<https://www.carnabio.com/>

ir-team@carnabio.com